

災害時の備え、できていますか？

家族みんなで"総"チェック!!

これからの時期、台風や豪雨などにより災害が発生する可能性があり、注意が必要です。今回は、もしもの時の「避難」についてのポイントを紹介します。

災害はいつ発生するか分かりません。自分や家族の命を守るため、この機会にチェックしておきましょう。

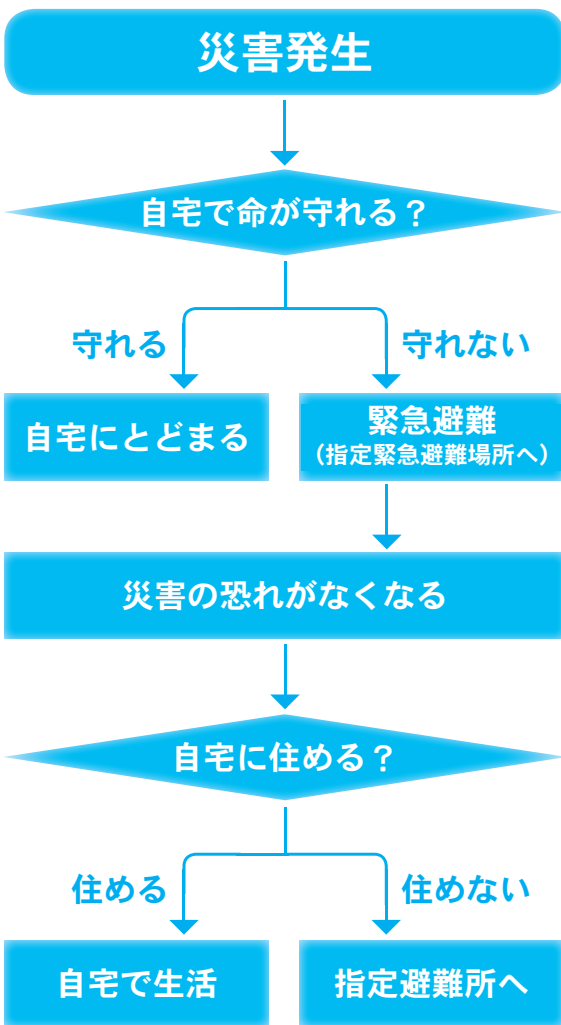
詳しくは、危機管理室（☎47-7385）へ。



昭和51年9月の豪雨災害の様子(大垣駅通り)

どうやって逃げる？

避難フローチャート!!



事前に「洪水ハザードマップ」で、避難先や避難ルートを確認しておきましょう。
洪水ハザードマップは、冊子「防災ガイドブック」や市HPで確認できます。



防災ガイドブック



市ホームページ

市民が適切な避難行動をとれるよう、警戒レベルを用いた避難情報を提供しています。水害・土砂災害の危険性が高まったときは、これまでの避難情報に5段階の警戒レベルを加えてお知らせします。

なお、警戒レベル1・2は気象庁が発表し、警戒レベル3～5は、市が発令します。



警戒レベル	避難情報など	避難行動など
5	災害発生情報	すでに災害が発生している状況です。命を守る最善の行動をとりましょう
4	避難指示(緊急) 避難勧告	速やかに避難しましょう。避難所への移動が危険なときは、自宅の2階など、より安全な場所へ避難しましょう
3	避難準備・高齢者等 避難開始	避難の準備を始めましょう。高齢者など避難に時間を要する人は避難しましょう
2	注意報など	避難に備えましょう。ハザードマップや気象情報を確認しましょう
1	早期注意情報 (警報級の可能性)	災害への心構えを高めましょう

危険度 (高) (低)

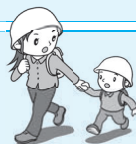
指定緊急避難場所

災害の危険から身を守るための場所 (災害の種類によって場所が異なります)



避難場所

指定避難所



自宅が被災して帰宅できない場合に、一定期間、避難生活する場所



避難所

日ごろから準備を!

備蓄品 7日分 と 持ち出し品 3日分

指定避難所に用意してあるものは、最低限の物資です。

電気やガス、水道などが止まった場合に備え、各家庭で、飲料水や保存の効く食料などを備蓄しておきましょう。

非常時の持ち出し品(例)

- * 食料
- * 飲料水(目安: 1人1日3ℓ)
- * 常備薬(持病の薬、お薬手帳)
- * 衛生用品(歯ブラシ、生理用品など)
- * 乳児用品(紙おむつ、哺乳瓶など)

逃げなきゃコール

家族からの「逃げて!」で すぐ行動を

離れた場所に暮らす家族に危険が差し迫った場合に、直接電話をかけて、避難行動を呼びかける取り組み「逃げなきゃコール」。

災害時、あなたから大切な人へ避難の呼びかけをしましょう。

